

修学旅行での学びを「つなぐ」

5月20日（月）～21日（火）、6年生が佐賀、長崎、熊本方面へ修学旅行に行ってきました。2日間とも素晴らしい天気のもと、たくさんの学びを得た旅行となりました。

2日間旅行に同行し、1番感じたのは「1年前の自然の家宿泊体験での姿から大きく成長」した点です。活動班や宿泊班でのグループ活動でのまとめ、各見学先で真剣に学びとろうとする姿、話を聴くときのピンと張りつめた空気を共有できること…、大きく成長した6年生でした。

長崎の原爆落下中心地公園での平和宣言も、長崎の空に響き渡るもので、他の観光客も足を止めて聞いていました。被爆体験講話では、講師の森内さんから、「戦争は絶対にしないこと、何かあれば、言葉で伝えあうことが大切」という話がありました。

雲仙普賢岳災害記念館では、「3つの涙」を学びました。「命をなくしたことの涙、自然相手では人間はどうすることもできない無力感の涙、復興に向け全国から届いたあたたかさに対する感謝の涙」の3つです。これからもたくさんの「あたたかさ」送っていききたいものです。

2日間、6年生それぞれが得たものを今後の学校生活で大いに発揮してもらいたいです。



【雲仙普賢岳】

【長崎平和記念公園】



豊府小だより

令和6年度
第2号
5月31日
豊府小学校
文責 校長

【令和6年度 学校教育目標】

「三さ（かしこさ、あたたかさ、つよさ）を身につけた児童の育成」

【全校縦割り班活動＝「ふれあい班」】

豊府小学校では、全校を1年生から6年生までが入った縦割り班（ふれあい班）を編成し、定期的に活動を行っています。この時期は、6月17日に実施予定のチャレンジ集会に向けて、どのようなお店を出すか、どのような準備をしておくか、役割分担などについて、話し合いで決めて準備をしています。

6年生は、話し合いがうまくいくように、同じ班の仲間と事前に打合せをして臨みます。下級生はそのような6年生の姿を見て、将来自分たちが6年生になったときの姿をイメージしていると思います。（特に5年生は、この3学期から班を運営していくのでよく見ていることでしょう。）逆に6年生は、準備をして臨んだけどうまくいかなかったり、低学年にわかりやすく説明するのにどうすればよいか悩んだりすると思います。

この相互の学びができることが、「ふれあい班」のよさであります。

6月17日、全校の笑顔が見られるとよいです。



《ふれあい班活動》

【学校運営協議会】

学校運営協議会は、年3回程度開催し、学校の状況等について伝え、地域や保護者の方からの意見等を、学校運営に反映させていくものです。第1回目を4月23日に実施し、今年度の経営方針、学力の状況等について説明し、ご意見をいただきました。1年間どうぞよろしくお願いいたします。

《今年度の委員さんです》

- ・小野洋一さん（根っこの会）
- ・佐藤則夫さん（子ども安全見守りパトロール）
- ・梅城眞司さん（自治委員連合会）
- ・佐藤美穂さん（ボランティア豊府）
- ・安東さえ子さん（民生・児童委員）
- ・辛島裕美さん（豊府児童育成クラブ）
- ・神 祐子さん（保護者OB）
- ・辻 恵理さん（青少年健全育成協議会）
- ・鈴木好美さん（主任児童委員）
- ・秦 邦仁さん（PTA会長）
- ・鹿嶋智香さん（PTA副会長）
- ・橋本栄子さん（PTA副会長）